第２学年２組　国語科

「人物の様子や気持ちが伝わるように発表しよう『ニャーゴ』」

ペープサート劇「ニャーゴ」シアターをひらこう！

指導者　　槙田　有香

1　単元設定の理由

○　本単元は，小学校学習指導要領第１学年及び第２学年の「C読むこと」の内容に基づき設定した。学習指導要領には，以下のように示されている。

> (1) ウ　場面の様子について，登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。
> 　オ　文章の内容と自分の経験とを結び付けて，自分の思いや考えをまとめ，発表し合うこと。

単元構成図

ペープサート劇「ニャーゴ」シアターをひらこう！

	活動の内容	学習目標
第一次	「ニャーゴ」のペープサート劇の発表会をするまでの学習の見通しをもち，物語の読み聞かせを聞き，感想を話し合う。	教材文をペープサート劇で表現することに興味をもち，意欲的に読み聞かせを聞くことができる。 読み聞かせを聞いて，初発の感想を話すことができる。
第二次	「ニャーゴ」を読み，物語を場面に分け，人物の様子や気持ちを読み取る。	場所や人物を手がかりにして，物語を場面に分ける。 挿絵を手がかりに，だれが何をしたかに気を付けて全体の内容を確かめ，登場人物の行動や会話から場面ごとに様子や気持ちを読み取ることができる。
第三次	自分のお気に入りの「ニャーゴ」の場面を選んで，３年生にペープサート劇を発表する。	大好きな場面を決めて，ペープサート劇で登場人物をどのように演じたらよいか考え，話し合うことができる。 グループで役を分担し，ペープサート劇の練習をしたり，ペアグループで劇を見せ合ったりしながら劇を完成させることができる。 発表会を開く準備を意欲的に行う。発表会で，劇を見合って，友だちの想像のおもしろさを見つけることができる。

○単元観

本単元では，ペープサート劇を作って発表する活動を通して，読み取った場面の様子や登場人物の気持ちが伝わるように表現する力を付けることをねらいとする。ペープサート劇を作る活動を通して，出来事の順序に気を付け，場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら読むことができる。

本教材「ニャーゴ」は，ねこと三匹の子ねずみが登場人物の中心となり，ユーモラスで軽妙な会話のやり取りが描かれている。三匹の子ねずみたちを食べようとねこが近づいてくるが，先生の話を聞いていなかったその子ねずみたちは，ねこの恐ろしさを知らず，無邪気にまた親切にねこと接する。そのようなかかわりを通して，天敵であるねこの心に変化を与え，ねこは子ねずみを食べずに別れる。この教材は，やさしさや思いやりの心は相手に伝わるのだと感じさせてくれる作品である。

この物語は，５つの場面からなり，場所や人物の言動の変化を手がかりに，展開をとらえることができる。また，物語の展開に合わせてそれぞれの場面に配置された挿絵も変化を読み取る手がかりとなる。児童は，これまでの生活や読書を通じて，ねことねずみはふつう「食う―食われる」の関係にあると思っているので，この物語の展開の意外さやおもしろさを，十分に味わうことができる。そこで，本単元の学習では，場面の様子について想像を広げて読むために挿絵を活用したり動作化させたりして，「ペープサート劇『ニャーゴ』シアターをひらこう！」という活動を設定する。ペープサート劇をするという目的意識をもつことで，教材文の読み取りを生かして表現することに意欲的に取り組むことができると考える。

○児童観

本学級の児童（19名　男子11名，女子８名）は，１学期までの学習でどの単元が楽しかったかアンケートをした結果，物語文「かくれんぼ」「お手紙」（読むこと）が楽しかったと答えた児童は56％（９/16），「ことばで絵を伝えよう」（話すこと聞くこと）が44％（７/16）であった。物語文が楽しかったと答えた児童の多くは，登場人物の行動のおもしろさを理由に挙げていて，物語文を読むことが好きなようである。物語文教材「かくれんぼ」や「お手紙」，では，場面や人物の様子を読み取る問題において，ほとんどの児童が正答していた。

２学期教材「名前を見てちょうだい」では，場所の変化やえっちゃんが出会う人物の変化に着目して，想像を広げながら読み取る能力を育てることをねらいとし，楽しく音読をした。ぼうしを食べた大男に向かって，「あたしのぼうしをかえしなさい。」と言ったえっちゃんの気持ちを考えさせたとき，えっちゃんにとって大事な帽子だったというところを理解して想像力豊かに読み取ることができた児童は，89％（17／19）だった。

音読においては，「だれが」「どんな様子で」「どうした」に気を付けて，声の大きさや抑揚，読む速さを考えて物語を読むことを経験している。しかし，作品の内容や登場人物の行動を読み取ることができているものの，音読においては，「点や丸に気を付けて読む」ことに気を付け読むことができるが，場面ごとの様子の変化に気付き，想像を広げて読むことが不十分であった。また，一文字ずつ指で字を拾いながら読んだり，読んでいる場所を見失ったりする児童もおり，登場人物の様子を読み取ることができていない児童もいた。せりふを書いて自分の考えをもったり，ペアや全体で話し合ったりする中で，場面ごとの人物の様子や気持ちを，想像しながら読み進めていきたい。

○指導観

指導に当たっては，「ペープサート劇『ニャーゴ』シアターをひらこう！」という言語活動を設定し，場面ごとに登場人物の様子から気持ちを想像して吹き出しに書いてせりふブックにまとめていく。単元の第一次で，どんな学習を行うのか見通しをもたせ，第二次では，場面の様子に気を付けて登場人物の様子や気持ちを読み深めたことを生かしてペープサートで表現する活動を設ける。第三次では，自分の好きな場面を選び，登場人物の様子や気持ちを工夫しながらペープサート劇で表す単元構成にした。

ねらいに基づき，次の３点において工夫して学習を進める。

第一に，学習意欲を高めるために，「ニャーゴ」の絵本や「ニャーゴ」の作者の宮西達也さんの別の絵本を読んだり，事前に他の話でペープサート劇を実際に見せたりする。

第二に，主体的に読む力を高めるために，挿絵や人物の様子，会話を手がかりとして読ませ，比較したり，理由を考えたりする活動を通して読み深めさせる。教材文には，会話文がたくさん使われており，だれがしゃべっているのかはっきりさせるために，ねことねずみの色分けシールを貼らせる。

第三に，場面の様子について想像を広げて読むために，人物の様子や気持ちを想像させて，人物になりきって吹き出しに言葉を書かせる。例えば，ねこが言葉として表していない心内語を想像させ，その読みをペープサート劇に取り込ませるようにする。それらをまとめてせりふブックにして，ねこの気持ちの変化に気付かせる。せりふブックには，吹き出しだけでなく，表情のないねこの顔を用意し，その時の気持ちが表れるように目と口を描かせ，場面ごとのねこの気持ちの変化がわかるようにする。

２　単元の目標

○　物語をペープサートで表現することに興味をもち，意欲をもって読もうとしている。

【国語への関心・意欲・態度】

◎　行動や会話から，場面の様子や人物の気持ちを想像しながら読むことができる。

【読むこと　ウ】

○　ペープサート劇を発表し合い，物語について自分が感じたことを伝えることができる。

【読むこと　オ】

○　同音の語でもアクセントによって意味が異なる場合があることに気付いて，せりふを声に出して読むことができる。　【言語についての知識・理解・技能イ（イ）】

３　単元評価規準

	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識･理解･技能
単元の評価規準	○物語を読んで好きな場面を見付けたり，お話の楽しさをペープサート劇で楽しんだりしようとしている。	◎行動や会話から，場面の様子や人物の気持ちを想像しながら読んでいる。 ○ペープサート劇を発表し合い，物語について自分が感じたことを伝えている。	○同音の語でもアクセントによって意味が異なる場合があることに気付いて，せりふを声に出して読んでいる。

4　指導計画（全12時間）

次	学習活動	めざす児童の姿	評価規準（評価方法）
一	「ニャーゴ」のペープサート劇の発表会をするまでの学習の見通しをもつ。 物語の読み聞かせを聞いて，感想を交流する。 （1）	「ニャーゴ」のペープサート劇の発表会をするのが楽しみです。 「ニャーゴ」の話の〇〇がおもしろいです。わけは，～だからです。	○　好きな場面を見つけたり，登場人物になりきって，楽しんで音読したりしようとしている。 【関・意・態】（ノート）
	ペープサート劇「ニャーゴ」シアターをひらこう！		
	５つの場面を確かめる。 （1）		○　出来事の順序をとらえ，物語を場面に分けている。 【読む】（行動観察）
	ペープサート劇をするために，誰の会話文であるかを確かめ，全文を読む。 （1）		○　だれの会話か読み取っている。 【読む】（教科書） ○　アクセントに気を付けて音読をしている。 【言語】（行動観察）
二	一場面のねずみの学校での３匹の様子を読み取る。（1）	先生の話を聞いていなかった３びきの子ねずみは，ねこの怖さを知りません。だから，桃を取りに行くのを楽しみにしています。	○　３匹の子ねずみたちがねこの怖さを全く知らなかったことをとらえている。 【読む】（ワークシート）
	二場面の子ねずみたちとねこが出会った時の様子を読み取り，ねこの気持ちを想像することができる。（1）	子ねずみたちは，ねこと一緒に桃を取りに行きたいと思っています。ねこは，桃と子ねずみの両方を食べられると喜んでいます。	○　子ねずみたちとねこの様子を読み取り，その食い違いを理解している。 【読む】（ワークシート）
	三場面の子ねずみたちといっしょに桃を食べているときのねこの気持ちを読み取る。 （1）	ねこは，桃を食べた後，子ねずみたちを食べようと考えています。	○　ねこが子ねずみたちと一緒に桃を食べながら考えていることを読み取っている。 【読む】（ワークシート）
	四場面のねこが子ねずみたちを食べようとした場面の子ねずみやねこの様子や気持ちを読み取る。 （1）	ねこは，子ねずみたちを怖がらせて食べようとしています。でも，子ねずみたちがやさしいから，あきらめようかと思っています。	○　ニャーゴとさけんだ時とためいきをついた時のねこの気持ちを想像している。 【読む】（ワークシート）
	五場面の子ねずみとねこの行動や様子に着目してねこの気持ちを読み取る。（1） （本時７／12）	子ねずみたちがやさしく声をかけてくれるから，ねこは，うれしくてジーンときています。	○　子ねずみたちを食べなかったねこの気持ちを読み取っている。 【読む】（ワークシート）

三	自分のお気に入りの「ニャーゴ」の場面を選び，ペープサート劇発表会の計画を立て，劇の準備をする。　（1）	「ニャーゴ」の〇場面をペープサート劇でやりたいです。 〇〇のせりふを練習します。	○　ペープサート劇を発表することに興味をもち，友だちと協力して発表の計画を立てている。 【関・意・態】（行動観察）
	自分の役割のせりふを考えて読む練習をする。（1）		○　読み取った人物の行動や気持ち，場面の様子が聞き手に伝わるように，音読の仕方を工夫している。 【読む】（行動観察）
	ペープサート劇の練習をする。　（1）		○　読み取った人物の行動や気持ち，場面の様子が伝わるように表現できているか，自分が感じたこと伝え合っている。 【読む】（劇発表・行動観察）
	ペープサート劇の発表をする。　（1）	ねこの〇〇のところが～とせりふを言っていたのでねこの気持ちが伝わりました。	○　工夫したことがわかるようにペープサート劇を発表し，友だちの想像のおもしろさを伝え合うことができる。 【読む】（行動観察・ノート）

5　本時の展開

⑴　本時の目標

○　場面の様子を読み取り，子ねずみたちを食べないで，桃を大事そうに抱えて帰ったねこの気持ちを想像することができる。

⑵　観点別評価規準

○　叙述をもとに場面の様子を読み取り，「ニャーゴ」と小さな声で答え，子ねずみたちを食べなかったねこの気持ちを想像している。　【読む能力】

⑶ 準備物

せりふブックになるワークシート，黒板掲示用カード，子ねずみとねこのペープサート，挿絵

(4)　学習の展開

学習活動	指導上の留意点（○）と支援（◆）	評価規準（評価方法）
1　前時までの学習を想起する。 2　本時のめあてを確認し，学習場面を音読する。	○　これまで学習してきた場面の状況設定（だれが，何をした）をペープサートと掲示を使って確認する。 五場面のねこのせりふを考えよう。 ○　めあてを確認し，五場面を音読させる。	
3　ねこが子ねずみたちを食べないで，桃を大事そうにかかえて帰ったのは，なぜか話し合う。	○　普通のねことねずみの関係は，「食べる－食べられる」の関係にあることを確認する。 ○　子ねずみたちの呼びかけの後，ももを「かかえて」から「だいじそうにかかえたまま」に変わっていることに気付かせ，動作化させて，違いを理解させる。 ○　第四場面と第五場面の挿絵を比べさせ，第五場面の挿絵には，ねこの目に涙があることに気付かせる。 ○　ノートに自分の考えを書かせ，発表させる。	
4　第五場面の，「ニャーゴ」と小さな声で答えたときのねこの気持ちを考える。 （評価問題） ・ありがとうよ。子ねずみたちを食べようとしていたおれを，友だちのように思ってくれるからうれしいよ。 ・子ねずみたちのおみやげをおれにくれるなんて，なんてやさしい子ねずみたちなんだ。 ・また，行こう。子ねずみたちは，おみやげをくれたり，また行こうとさそってくれたりして，かわいいな。 ・ありがとう。こんなによくしてくれる子ねずみたちを食べようとしていたなんてごめんよ。 5　本時の学習を思い出しながらせりふを言う。	○　今までの「ニャーゴ」の言葉の意味を比べてねこの気持ちの変化に気付かせる。 ◆　学習活動３を板書等で振り返らせ，ねこの気持ちを想像させる。 ○　子ねずみがねこのためにした行動を読み取らせ，ねこの気持ちを想像させ，ワークシートのねこの顔の絵に目と口をかかせる。 ○　第五場面の「ニャーゴ」と言ったねこの心の声を想像して，ねこになったつもりで，ワークシートの吹き出しに話し言葉で書かせる。 ○　今までに作ったせりふブックを読み返して，ねこの気持ちの変化をとらえさせて，小さい声でつぶやく「ニャーゴ」と吹き出しの言葉を言う。 ○　ワークシートをペープサートにして，ペアで発表し合い，全体で交流させる。	○登場人物の気持ちを想像して，心情の変化をとらえている。 【読む】 （ワークシート）